

④ 平成 29 年度における教員の活動

[機構長]

職位	氏名	専門分野	本務所属
機構長	栗原 和美	電力工学・電気 機器工学	理工学研究科（工学野）電気電子システム工学領域・ 教授/副学長

[評議員・副機構長]

職名	氏名	専門分野	本務所属
評議員	松坂 晃	応用健康科学	全学教育機構 共通教育部門 教授
総合教育企画部門長	下村 勝孝	基礎解析学	理工学研究科（理学野）数学・情報数理領域・ 教授
共通教育部門長	篠嶋 妥	金属物性	理工学研究科（工学野）物質科学工学領域・ 教授
学生支援部門長	西川 陽子	食品科学, 科学 教育, 食生活学	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コ ース 家政教育教室・教授/学長特別補佐
国際教育部門長	佐藤 達雄	園芸学・造園学, 育種学, 植物栄 養学・土壌学	農学部 附属国際フィールド農学センター・教 授/学長特別補佐
学務部長	向後光典	事務統括	事務局学務部

○ 総合教育企画部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	畠田 敏行	教育学, 大学経営	60
助教	佐川 明美	高等教育マネジメント	59

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	田中 耕市	各学部との連絡調整、 学部内での教育改善 施策の立案や実施	人文社会科学部 現代社会学科
教授	齋藤 芳徳		教育学部 情報文化課程
教授	中川 尚子		理工学研究科（理学野）物理学領域
教授	横木 裕宗		理工学研究科（工学野）都市システム工学領域
准教授	牧山 正男		農学部 地域総合農学科

[協力教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	井上 拓也	各学部との連絡調整、学部内 での教育改善施策の立案や	人文社会科学部 法律経済学科
教授	梅津 健一郎		教育学部 学校教育教員養成課程 教科

		実施	教育コース 数学教育教室
教授	大久保 武		農学部 食生命科学科
准教授	佐藤 伸也		全学教育機構 共通教育部門

○ 共通教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	福田 浩子	言語教育, 応用言語学, 異文化コミュニケーション	64
教授	金光男	地域研究, 東アジア国際関係史	65
教授	松坂 晃	応用健康科学	66
准教授	Frederick Allan Shannon	応用言語学	68
准教授	小林 邦彦	異文化コミュニケーション、英語教育学、第二言語習得	69
准教授	小西 康文	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	70
准教授	菊池 武	英語教育	71
准教授	SCHMIDT-Fajlik Ronald	English language teaching pedagogy, intercultural communication	72
准教授	清水 恵美子	比較文学比較文化、日本近代美術史	73
准教授	佐藤 伸也	情報学基礎理論、計算機システム、ソフトウェア	76
准教授	上田 敦子	外国語教育	78
准教授	山崎 大	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	79
講師	大森 真	英語教育	81
講師	佐々木 友美	外国語教育	82
講師	鈴木 聡子	外国語教育	83
講師	館 深雪	英語教育、言語教育、カウンセリング	84

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
准教授	神田 大吾	多文化理解部会；初修外国語	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	横溝 環	多文化理解部会；異文化コミュニケーション	人文社会科学部 現代社会学科
教授	櫻井 豪人	多文化理解部会；ヒューマニティーズ*	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	牧 良明	社会と生活部会	人文社会科学部 法律経済学科
教授	木村 昌孝	グローバル英語プログラム部会	人文社会科学部 現代社会学科
准教授	渡邊 将司	心と体の健康部会	教育学部 人間環境教育課程
教授	谷川 佳幸	多文化理解部会；パフォーマンス&アート	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

④ 教員の活動に関する主要データ

准教授	大塚 富美子	自然・環境・科学部会	理工学研究科（理学野） 数学・情報数理領域
教授	江口 美佳	自然・環境・科学部会	理工学研究科（工学野） 物質科学工学領域
教授	上妻 由章	自然・環境・科学部会	農学部 食生命科学科
准教授	坂上 伸生	AIMS プログラム部会	農学部 食生命科学科
教授	安江 健	地域協創人材教育プログラム部会	社会連携センター/農学部 食生命科学科

○ 学生支援部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	小磯 重隆	教育社会学	85
講師	矢嶋 敬紘	社会福祉学, 臨床心理学	86

○ 国際教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	安 龍洙	日本語教育	88
教授	八若 壽美子	日本語教育	89
教授	池田 庸子	日本語教育	90
講師	青木 香代子	教育学（多文化教育、異文化間教育、国際理解教育）	92
講師	瀬尾 匡輝	日本語教育, 外国語教育, 教育社会学	93
助教	塚田 純		96

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	村上 雄太郎	各学部との連絡調整、学部内での国際教育施策の立案や実施	理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
教授	湊 淳		理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
准教授	中村 彰宏		農学部 食生命科学科

総合教育企画部門	氏名 佐川 明美
-----------------	-----------------

職名	助教
学位	修士（工学）信州大学
学歴	
職歴	日立工機株式会社（米 DPC 社.）研究職、株式会社リコー 法務知財 1990/04/01-2008/09/30 同社 知的財産権本部 特許技術職 2008/10/01-2015/08/31 茨城大学 社会連携センター 産学官連携コーディネーター 2015/09/01-2016/11/13 茨城大学 全学教育機構 2016/11/14-現在
免許・資格	中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状（2016 更新） 知的財産管理技能士（国家資格） AIPE 認定 知的財産アナリスト
教育研究概要	高等教育マネジメント （キーワード）質保証 IR
所属学会	知的財産管理技能士会 日本知財学会
受賞歴	
担当科目	なし

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 論文等</p> <p>1. 佐川 明美、寫田 敏行、栗原 和美「大学評価と IR」 「茨城大学における教育の質保証の取組（仮称）」（承認依頼中）</p> <p>○ 研究発表等</p> <p>1. 「平成 29 年度高知大学 AP 事業シンポジウム&ポスターセッション」ポスター発表、共催茨城大学（東京都）（2017 年 10月）</p> <p>2. 「AP 事業テーマ V・茨城大学・東日本国際大学合同勉強会」発表（2018 年 3月） 茨城大学</p>
--

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

<p>○ 講演会・シンポジウム</p> <p>1. 公開型 FD/S D 研修会運営「講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン」（2018 年 3月）茨城大学</p> <p>2. ひたちなか市男女共同参画センター総会講師「社会で活かせる資格 (know-how) と資質」(2017 年 5月) ひたちなか市男女共同参画センター</p> <p>○ 社会的活動</p> <p>1. [研究交流] 公開授業 研究主題「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善—校内 Wi-Fi・スマホ・プロジェクター・タブレット等の活用—(2017 年 11月)奈良市一条高校</p> <p>2. [研究交流] グローバル知財戦略フォーラム 2018 「ビジネスと知財の統合的なマネジメント～変革期に求められる新たな視点を取り込んで顧客価値創造を～」(2018 年 1月)東京</p> <p>3. [地域交流] 地域ブランドシンポジウム in 北陸～今すぐ実践できる地域ブランド戦略～(2017 年 11月)金沢</p> <p>4. [地域交流] 知財シンポジウム in KANSAI 「イノベーションの創出拠点としての大学活用」(2018 年 1月)神戸</p> <p>5. [地域交流] 第 2 回茨城県ベンチャーピッチ「県内のベンチャー企業、技術力やアイデアをプレゼン」(2018 年 2月)つくば</p>
--

平成 29 年度における国際交流活動

④ 教員の活動に関する主要データ

1. [研究交流] 「日米における内部質保証システムに関する研究会」・メイン州立大学オーガスタ校 (米国) (2017年12月～2018年01月)

平成 29 年度における大学運営・機構運營業務

○ 機構教員としての全学的活動 (教学マネジメント) 等

1. [助成事業] 文部科学省平成 28 年度大学教育再生加速プログラム (AP) テーマV 「卒業時の質保証の取組の強化」中間評価
2. [研究交流] 「平成 29 年度 全国大学教育研究センター等協議会、分科会」授業評価アンケートについて (2017 年 9 月) 徳島大学
3. [研究交流] 平成 29 年度 教育改革国際シンポジウム「大学教育の成果をどう測るか」ー全国卒業生調査の国際的動向ー (2017 年 12 月) 文部科学省

総合教育企画部門

氏名 畠田 敏行

職名	准教授
学位	修士 (理学) [金沢大学]
学歴	金沢大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程 地球環境科学専攻 [2003 年単位取得退学] 金沢大学大学院 自然科学研究科 博士前期課程 生命・地球学専攻 [1999 年修了] 金沢大学 理学部 地学科 [1997 年 03 月卒業]
職歴	茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門准教授 (2016 年 8 月～) 茨城大学 IT 基盤センター 教育 IT 化推進部門 (兼務) (2018 年 5 月～) 茨城大学 大学戦略・IR 室准教授 (2015 年 4 月～2016 年 7 月) 茨城大学 大学戦略・IR 室助教 (2014 年 10 月～2015 年 3 月) 茨城大学 助教評価室 (2007 年 4 月～2014 年 9 月) 茨城大学 IT 基盤センター IT システム運用部門 (兼務) (2005 年 7 月～2018 年 4 月) 茨城大学 助手評価室 (2005 年 3 月～2007 年 3 月) 茨城大学 水戸事業場衛生管理者 (2004 年 4 月～) 茨城大学 学術企画部 企画課 大学改革係 (2004 年 4 月～2005 年 2 月) 茨城大学 総務部 総務課 大学改革推進室 大学改革推進係 (2003 年 4 月～2004 年 3 月) 防災科学技術研究所非常勤職員 (文部科学省研究開発局防災科学技術推進室勤務) (2002 年 7 月～2002 年 8 月)
専門分野	教育学 大学経営
教育研究概要	大学運営支援のための情報収集、分析、活用的高度化を図るための機能 (IR) を活用した継続的な教育改善の仕組み (内部質保証システム) 構築の実践的研究を進めている。 (キーワード) 大学改革、評価
所属学会	米国 IR 協会 日本地形学連合 大学評価コンソーシアム 日本高等教育学会
受賞歴	なし
担当科目	なし

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [調査報告書・共著] 畠田 敏行, 山本 幸一「大学評価・IR 担当者集会 2017 「IR 初心者/初級セッ

ション実施報告書」, 大学評価コンソーシアム, (2017年09月28日)

2. [その他・編者] 大学評価コンソーシアム情報誌編集委員会「情報誌「大学評価とIR」第8号」, 大学評価コンソーシアム, (2017年08月10日)
3. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】] 大川 一毅, 大野 賢一, 寫田 敏行「実施状況調査から把握する全学卒業生組織による母校・在学生支援」, 大学論集, **50**, 113-128 (2018年03月)
4. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】] Noriko Hasebe, Haruka Hayashi, Kazumi Ito, Manabu Ogata, Toshiyuki Shimada, Taeko Itono "Environmental regime change at around 500 BCE found in sediment cores from Lake Yogo, Japan: Possible impact of agricultural use", CATENA, **157**, 171-175 (2017年12月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 寫田敏行, 岡部康成, 末次剛健志, 白石哲也, 土橋慶章, 橋本智也, 藤原将人, 田中秀典, 山本幸一「我が国のIRオフィスの現状から考えるIR立ち上げ後の課題とその解決」継続的改善のためのIR/IEセミナー2018 [セッション2] 日本型IRの課題とその解決に向けたセッション(九州工業大学 戸畑キャンパス) [2018年03月02日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 寫田 敏行「内部質保証システムをTQMから考える」平成29年度第3回 IR実務担当者連絡会(明治大学 駿河台キャンパス) [2017年10月27日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 大野 賢一・寫田 敏行「各大学で共通に見られる現象の括りだしから「共通知」を整理する」平成29年度第3回 IR実務担当者連絡会(明治大学 駿河台キャンパス) [2017年10月27日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 寫田 敏行「IRの各業務フェイズでの留意点について」大学評価・IR担当者集会2017 IR初心者/初級セッション(立命館大学 大阪いばらきキャンパス) [2017年08月25日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 寫田 敏行「事例をもと内部質保証のガイドラインを読み解く」継続的改善のためのIR/IEセミナー2017b セッション2「質保証とカリキュラム・マネジメント」(九州大学 伊都キャンパス) [2017年07月21日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 寫田 敏行, 藤井 都百, 大野 賢一「大学評価コンソーシアムによる評価・IR人材育成活動について」継続的改善のためのIR/IEセミナー2017b セッション1「IR人材の在り方について考える」(九州大学 伊都キャンパス) [2017年07月20日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 寫田 敏行「教員のパフォーマンスをどのように測りマネジメントにつなげるか」平成29年度第2回 IR実務担当者連絡会(帯広畜産大学) [2017年07月14日]
8. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 寫田 敏行「茨城大学における第三期中期目標期間の計画進行管理について」平成29年度第1回 IR実務担当者連絡会(立命館大学 大阪いばらきキャンパス) [2017年05月19日]

平成29年度における社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 文部科学省 科学技術・学術政策局「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査項目等に関する検討会 [座長代理]
2. 文部科学省 科学技術・学術政策局「研究開発評価推進検討会」 [委員]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 兼業サンプルデータ・役職サンプル (2017年04月～2018年03月)

○ 学協会での役職

1. 大学評価コンソーシアム, 副代表幹事(総務担当) (2011年09月～)

○ 学外教育

1. [その他]「平成29年度第3回 IR実務担当者連絡会[企画運営・講義](明治大学 駿河台キャンパス)」, 大学評価コンソーシアム

④ 教員の活動に関する主要データ

2. [その他] 「平成 29 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会 [企画運営・講義] (帯広畜産大学)」, 大学評価コンソーシアム
 3. [その他] 「平成 29 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会 [企画運営・講義] (立命館大学大阪いばらきキャンパス)」, 大学評価コンソーシアム
- 講演会・シンポジウム
1. 「石川県公立大学法人大学 I R セミナー (国内)」, 石川県公立大学法人 (しいのき迎賓館 (石川県金沢市)) [招待講演] (2018 年 02 月)
 2. 「日本私立大学連盟 第二回学長会議」, 日本私立大学連盟 (東京都千代田区) [招待講演, パネリスト] (2018 年 01 月)
 3. 「第 3 回 GAKUEN IR 研修会 2017 (国内)」, 日本システム技術株式会社 (東京都・港区) [招待講演] (2017 年 12 月)
 4. 「鳥取大学 FD 講演会 (国内)」, 鳥取大学 (鳥取県 鳥取市) [基調講演, 招待講演] (2017 年 12 月)
 5. 「教職員能力開発拠点事業 IRer 養成講座 in 愛媛 (国内)」, 愛媛大学・大学評価コンソーシアム (共催) (愛媛県・松山市) [企画・運営, その他] (2017 年 11 月)
 6. 「高知大学 平成 29 年度 AP 事業シンポジウム (国内)」, 共催茨城大学 (東京都) [招待講演, パネリスト] (2017 年 10 月)
 7. 「第 23 回 GAKUEN 全国ユーザ研修会 (国内)」, 日本システム技術株式会社 (福岡工業大学) [招待講演] (2017 年 10 月)
 8. 「第 2 回 GAKUEN IR 研修会 2017 (国内)」, 日本システム技術株式会社 (東京都・港区) [招待講演] (2017 年 10 月)
 9. 「平成 29 年度第 2 回宮崎大学 SD/FD 研修会 (国内)」, 宮崎大学 (宮崎県宮崎市) [基調講演, 招待講演] (2017 年 09 月)
 - 10 「大学評価・IR 担当者集会 2017 (国内)」, 大学評価コンソーシアム (立命館大学大阪いばらきキャンパス) [企画・運営, その他] (2017 年 08 月)
 - 11 「継続的改善のための IR/IE セミナー」, 大学評価コンソーシアム (九州大学 伊都キャンパス) [企画・運営, その他] (2017 年 07 月)
 - 12 「東京海洋大学 IR 研修会 (国内)」, 東京海洋大学 (東京都・港区) [基調講演, 招待講演] (2017 年 07 月)
 - 13 「第 1 回 GAKUEN IR 研修会 2017 (国内)」, 日本システム技術株式会社 (東京都・港区) [招待講演] (2017 年 07 月)
 - 14 「河合塾・教学 IR セミナー「内部質保証の実現をめざして」 (国内)」, 学校法人河合塾 (東京都千代田区) [基調講演, 招待講演] (2017 年 07 月)
 - 15 「GAKUEN 事例セミナー in TOKYO」, 日本システム技術株式会社 (東京都・港区) [招待講演] (2017 年 06 月)
 - 16 「茨城キリスト教大学 SD 研修会 (国内)」, 茨城キリスト教大学 (茨城県日立市) [基調講演, 招待講演] (2017 年 05 月)
 - 17 「平成 29 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会 (国内)」, 大学評価コンソーシアム (立命館大学 大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市)) [企画・運営, その他] (2017 年 05 月)

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 基盤研究(B) (代表) 「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関する研究」 (2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
2. [科研費] 基盤研究(C) (分担) 「大学の持続的発展に資する校友 (大学・学生・卒業生) 事業の意義と可能性に関する研究」 (2015 年 04 月 01 日～2018 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「大学ベンチマークの理論に関する基礎的研究(分担)」, 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 (2017年04月～2018年03月)
2. [国内共同研究]「環境領域の研究コミュニティの効果的形成と運用に関する予察的研究(代表)」, 金沢大学環日本海域環境研究センター (2017年04月～2018年03月)

平成29年度における国際交流活動

1. [研究交流]「日米における内部質保証システムに関する研究会」・メイン州立大学オーガスタ校(米国) 2018年01月～2018年01月

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 web サイト開設準備 TF」 [座長] (2017年11月～)
2. 「全学教育機構 点検評価委員会」 [委員] (2017年04月～)
3. 「全学教育機構 学術委員会」 [委員] (2017年04月～)

○ 全学的委員会の業務

1. 「図書館本館委員会」 [委員] (2017年10月～)
2. 「図書館運営委員会」 [委員] (2017年10月～)
3. 「教務情報ポータルシステム専門委員会」 [副委員長] (2017年04月～)
4. 「全学情報委員会」 (2015年～)
5. 「年俸制適用教員業績評価専門部会」 (2015年～)
6. 「水戸事業場安全衛生委員会」 [衛生管理者] (2004年～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. FD担当者 (2003年10月～)

○ その他の校務

1. [教員業務評価のデータシート作成および支援業務] (2005年10月～)
2. [中期目標・計画進行管理システム運用・改修] (2006年08月～2018年7月)
3. [教育改善支援システム運用・改修] (2008年04月～)

④ 教員の活動に関する主要データ

共通教育部門		氏名 福田 浩子
職名	教授	
学位	修士（国際コミュニケーション）〔青山学院大学〕	
学歴	青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 修士課程 国際ビジネス専攻（国際コミュニケーション）〔1996年修了〕 慶應義塾大学 文学部〔1978年卒業〕	
職歴	茨城大学全学教育機構教授（2017年4月～） 茨城大学人文学部教授（2013年10月～） 茨城大学人文学部准教授（2007年4月～2013年9月） 慶應義塾大学外国語教育センター上席研究員（2007年10月～2011年3月） 茨城大学人文学部助教授（2002年4月～2007年3月） 武蔵野女子大学人間関係学部非常勤講師（2000年4月～2001年3月） 獨協大学外国語学部非常勤講師（1999年4月～2002年3月） 獨協大学オープン・カレッジ講師（1999年4月～2002年3月） 青山学院大学国際政治経済学部兼任講師（1998年4月～2004年3月） 日本能率協会マネジメントセンター人事アセスメント研究所外部講師（1995年4月～2002年3月） 湘北短期大学非常勤講師（1990年4月～1999年3月）	
専門分野	言語教育 応用言語学 異文化コミュニケーション	
教育研究概要	茨城大学総合英語プログラムの企画、開発を担当したことから、CEFRを参照した日本における英語教育のカリキュラム開発、特に到達目標の策定、Can-do statementsの開発、自律的学習のあり方などを研究してきた。また、Hawkinsらのイギリスの「言語への気づき」(Language Awareness)を踏まえた、日本の言語教育(母語・外国語教育)における言語への気づきをテーマとし、小学校の英語・国語教育・国際理解教育をつなぐものとしての言語意識教育、多言語多文化共生時代の言語教育について研究している。現在は、これを発展させ、多言語・多文化に開かれた言語教育のあり方、複言語・複文化主義に基づく言語教育について、主にスイスの先進的な取り組みを調査し、研究している。 (キーワード) 言語への気づき、言語意識教育、ELBE、EOLE、自律的学習、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)、ELP(European Language Portfolio)、複言語主義、複文化主義、大学教養英語教育、小学校の外国語活動、カリキュラム開発、CLIL、translanguaging	
所属学会	日本国際理解教育学会 日本言語政策学会 外国語教育学会 大学英語教育学会 異文化間教育学会 Association for Language Awareness 異文化コミュニケーション学会	
受賞歴	平成14年度後学期茨城大学推奨授業表彰 英語ⅡTR	
担当科目	(教養科目) Integrated English IA, Integrated English IB	

平成29年度における研究業績

「第6章 複言語主義に基づく言語教育—スイスの先進的な事例から—」木村哲也編『日本の社会構造の変化と言語教育政策』（仮）ココ出版 pp.240

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 全学的委員会の業務

1. [学生支援センターバリアフリー推進部会、障害学生修学支援員(機構)] (2017年4月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [プラクティカル・イングリッシュ専門部会、委員] (2017年4月～)

2. [プラクティカル・イングリッシュ専門部会、AE プランニング・サブ・ディレクター] (2017年4月～2018)

年 3 月 31 日)
3. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、AE I コース・コーディネーター] (2017 年 4 月～2018 年 3 月 31 日)
4. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、IE I サブ・コーディネーター] (2017 年 4 月～2018 年 3 月 31 日)
5. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、クラス分け学習相談担当] (2017 年 4 月～2018 年 3 月 31 日)
6. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、学習支援 English Lounge 学習相談 (IE I、総合英語プレレベル 3) 担当] (2017 年 4 月～)
7. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、教員支援 FD チーフ] (2017 年 4 月～)
8. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、プログラム改革担当] (2017 年 4 月～2018 年 3 月 31 日)
9. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会、書記] (2017 年 4 月～2018 年 3 月 31 日)

共通教育部門	氏名 金光男
---------------	---------------

職名	教授
学位	政治学修士 [早稲田大学]
学歴	上智大学大学院 外国語学研究科 博士課程 国際関係論専攻 [1992 年 03 月単位取得満期退学] 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程 政治学 [1987 年修了] 早稲田大学 社会科学部 社会科学科 [1980 年卒業]
職歴	早稲田大学アジア研究機構・客員研究員 (2008 年 4 月～2010 年 3 月) オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズ大学人文社会科学部客員研究員 (2000 年 4 月～2001 年 3 月) 東京外国語大学外国語学部東南アジア課程非常勤講師 (1997 年 4 月～1999 年 3 月) 茨城大学人文学部助教授 (1994 年 4 月～) 国立インドネシア大学政治社会学部国際関係学科客員講師 (1993 年 2 月～1994 年 2 月) 早稲田大学社会科学研究所インドネシア部会研究協力者 (1988 年 4 月～1992 年 3 月)
専門分野	地域研究 東アジア国際関係史
教育研究概要	授業は、アジア社会論、政治学担当。研究分野は、インドネシア地域研究、アジア日本関係史、朝日関係史の研究。 (キーワード) インドネシア、朝鮮・韓国、日本、国際関係、東アジア地域研究
所属学会	歴史学研究会 韓日民族問題学会 アジア・ヨーロッパ未来学会 茨城大学政経学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) グローバルスタディーズ (専門科目) コース・ゼミナール A, アジア学概論, 専門ゼミナール A (アジア社会論), コース・ゼミナール B, アジア社会論 B/アジア社会論 II, 専門ゼミナール B (アジア社会論) (大学院科目) アジア社会論研究 I, 課題研究演習 I, アジア社会論研究 II, 地域研究・社会学基盤演習, 課題研究演習 II

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等
1. [研究論文 (大学, 研究機関紀要)・単著] 金光男「官営から後藤経営下の高島炭坑に関する一考察」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 1, 79-95 (2018 年 03 月)

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. アジア・ヨーロッパ未来学会，学会誌『ユーラシア研究』政治・外交分科編集委員（2008 年 01 月～）

共通教育部門

氏名 松坂 晃

職名	教授
学位	体育学修士 [筑波大学]
学歴	筑波大学大学院 体育研究科 修士課程 健康教育学専攻 [1979 年修了] 福島大学 教育学部 保健体育専攻 [1977 年卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構教授（2017 年 4 月～） 茨城大学全学教育機構評議員，大学教育学野大学教育領域長（2017 年 5 月～2019 年 3 月） 茨城大学教育学部茨城大学学生就職支援センター長（2013 年 4 月～2017 年 3 月） 茨城大学教育学部茨城大学教育学部附属特別支援学校長（2009 年 4 月～2012 年 3 月） 茨城大学教育学部教授（2000 年 4 月～2017 年 3 月） 茨城大学教育学部助教授（1996 年 4 月～2000 年 3 月） 茨城大学教養部助教授（1987 年 4 月～1996 年 3 月） 茨城大学教養部講師（1986 年 4 月～1987 年 3 月） 筑波大学体育科学系文部技官（1979 年 4 月～1984 年 3 月）
専門分野	応用健康科学
教育研究 概要	子どもの身体活動，体力運動能力，肥満，および障害児の運動に関する研究 (キーワード)
所属学会	日本体力医学会 日本体育学会 日本特殊教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 身体活動，健康の科学 (専門科目) 運動処方論，生理学概論，体育科教育法研究，小児健康運動学，子どもの体力と健康，卒業研究（教育：4 単位） (大学院科目) 健康生理学特論，養護学総合研究

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文 (大学，研究機関紀要)・共著] 松坂晃，上地勝，加藤敏弘，篠田明音，大津展子，中嶋哲也，渡邊將司，吉野聡，勝本真，富樫泰一，日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題：第 1 報 20 年間の変化および全国平均値との比較」，茨城大学全学教育機構論集，1，33-41（2018 年 03 月）
2. [研究論文 (大学，研究機関紀要)・共著] 上地勝，加藤敏弘，松坂晃，篠田明音，大津展子，中嶋哲也，渡邊將司，吉野聡，勝本真，富樫泰一，日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題：第 2 報 学部間の比較および経年変化」，茨城大学全学教育機構論集，1，43-51（2018 年 03 月）
3. [研究論文 (大学，研究機関紀要)・単著] 松坂 晃「縦断的にみた知的障害児の運動技能発達：体育授業で取り上げられる運動技能の追跡的観察」，茨城大学教育学部紀要（教育科学），67，663-668（2018 年 01 月 30 日）
4. [研究論文 (大学，研究機関紀要)・単著] 松坂 晃「知的障害児の運動技能向上に関する教員の体験的実感：特別支援学校教員を対象とした質問紙調査から」，茨城大学教育学部紀要（教育科学），67，649-662

(2018年01月30日)

5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著] 大久保香梨, 斉藤ふくみ, 松坂晃, 青柳直子「小学生のテクノ不安傾向の実態と学習意欲との関連に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 511-525 (2018年01月30日)
 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著] 吉野聡, 中嶋哲也, 大津展子, 渡邊將司, 篠田朱音, 上地勝, 加藤敏弘, 勝本真, 富樫泰一, 松坂晃, 日下裕弘「小学校教員養成における体育科教育法の授業設計」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 299-312 (2018年01月30日)
 7. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】] 湯原裕子, 斉藤ふくみ, 松坂晃, 廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護教諭の対応(第1報)成長を感じたエピソードの分析から」, 学校健康相談研究, 14, 1, 62-70 (2017年12月20日)
 8. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著] 松坂 晃「知的障害児の運動技能習得に関する研究ー特別支援学校中学部におけるサッカー授業実践からー」, 茨城大学教育実践研究, 36, 323-329 (2017年11月30日)
- 学会発表等
1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 松坂 晃「知的障害児の運動技能に関する縦断的研究」第55回日本特殊教育学会(名古屋国際会議場) [2017年09月17日]

平成29年度における社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会 [地域貢献事業] 「子どもの運動と健康」『教員免許更新講習』 (2017年08月)
2. 水戸市教育委員会 [学外審議会・委員会等] 「みと好文カレッジ運営審議会委員」 (2016年06月～2018年06月)
3. 東海村教育委員会 [学外審議会・委員会等] 「東海村スポーツ推進計画策定委員」 (2017年05月～2018年03月)

平成29年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 基盤研究(C)一般(代表)「知的障害児童生徒の動きの学習習熟度からみた体育学習内容の検討」, 208万円 (2014年04月01日～2018年03月31日)

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 人事委員会委員長
2. 心と体の健康専門部会長

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. 評議員(教育研究評議会)

○ その他の校務

1. 年俸制適用教員業績評価専門部会委員
2. 環境報告書作成WG

④ 教員の活動に関する主要データ

共通教育部門		氏名 Frederick Allan Shannon
職名	准教授	
学位	博士 [クイーンズランド大学] 修士 [サザン・クイーンズランド大学] 学部 [サイモンフレーザー大学] ケンブリッジ大学 英語教授法資格 [ケンブリッジ大学]	
学歴	クイーンズランド大学大学院 教育学部 博士課程 教育 (クイーンズランド大学) [2008年01月修了] サザン・クイーンズランド大学大学院 教育学部 修士課程 言語学 (サザン・クイーンズランド大学) [2004年07月修了] サイモンフレーザー大学 犯罪学部 犯罪学部 (カナダ) [1996年07月卒業] ケンブリッジ CELTA 英語教授法資格 [2004年07月卒業]	
職歴	東京電機大学工学部英語系列 任期付教員 (2013年3月まで) 九州大学言語文化研究院 招聘外国人講師 (2012年3月まで)	
専門分野	応用言語学	
教育研究概要	(キーワード) ナチュラルアプローチ, クラッシュェン, SLA モデル, 情意フィルター, インタラクション仮説, インプット仮説, 生得理論, 言語習得装置, モニターモデル, ナチュラルアプローチ, 相互交流仮説, インプット仮説, 生得理論, 意味交渉, 最近接発達の領域 (ZPD)	
所属学会	JALT	
受賞歴		
担当科目	(教養科目) Advanced English IIA, Advanced English IIB, Practical English IIA, Practical English IIB (専門科目) American Ways : Exploring American Life, スピーチコミュニケーション, ESIC I, Cultural Learning through Video, English for Intercultural Communication, 異文化コミュニケーション文献講読, Canadian Studies (大学院科目) L and C in English-speaking countries	

平成 29 年度における研究業績

Shannon, F. (2018). The Strange Death of Europe: Immigration, Identity, Islam

平成 29 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

→ Entrance Examination: (1) Review English Department Exam, (2) Grade English Section of Entrance Examination

○ 機構教員としての全学的活動 (教学マネジメント) 等

→ 2017 President's Cup Ibaraki University Speech Contest: Judge of Speech Contest

○ その他の校務

→ Edit Japanese Professor's English research papers in College of Humanities

→ English Training on Wednesdays 1:30 PM ~ 3:50 PM 2018 Spring and Fall Semester

共通教育部門 **氏名 小林 邦彦**

職名	准教授
学位	修士（教育学）〔茨城大学〕
学歴	茨城大学大学院教育学研究科教科教育専攻英語教育専修 修了
職歴	1981年4月～1998年3月 茨城県公立学校教諭 1998年4月～2004年3月 茨城工業高等専門学校人文科学科 助教授 2004年4月～2016年3月 茨城大学人文学部 准教授 2016年4月～現在に至る 茨城大学全学教育機構 准教授
専門分野	異文化コミュニケーション、英語教育学、第二言語習得
教育研究概要	異文化間コミュニケーション理論を外国語教育の入門期から体系的に導入するための「異文化間コミュニケーション・シラバス」の設計及び教授法の研究。心理言語学的プロセスを価値哲学、論理学、様相論理学、発話行為理論から解明する。 (キーワード) 異文化間コミュニケーション理論を外国語教育の入門期から体系的に導入するための「異文化間コミュニケーション・シラバス設計」とその教授法の研究。英語教授法に関して、「コミュニケーション・アプローチ」を機軸として「動機付け理論」、「タスク理論」、「学習ストラテジー」に関する「認知学習理論」、「学習者中心の教授法」等の研究をはじめ、CALL等「教
所属学会	全国語学教育学会 全国英語教育学会 大学英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) Integrated English IIA, Integrated English IIB

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業] 「教員免許状更新講習 講師」 (2011年08月～)
2. [地域貢献事業] 「教員免許状更新講習 講師」 (2010年08月～)
3. 「教員免許状更新講習 講師」 (2009年12月～)
4. [地域貢献事業] 「教員免許状更新講習 講師」 (2009年08月～)
5. 「国立茨城工業高等専門学校 英語スピーチコンテスト審査委員長」 (2009年07月～)

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

1. 「CALL 教室専門部会」 [委員] (2010年04月～)
2. 「学生交流事業実施委員」 [日米文化交流委員] (2010年04月～)

○ 全学的委員会の業務

- 「学生交流事業実施委員会」 [日米文化交流委員] (2010年04月～)
「総合英語教育専門部会」 [委員] (2003年04月～)

④ 教員の活動に関する主要データ

共通教育部門		氏名 小西 康文
職名	准教授	
学位	博士（物理学）〔京都産業大学〕	
学歴	京都産業大学大学院 理学研究科 博士後期課程 物理学専攻〔2010年03月修了〕	
職歴	茨城大学大学教育センター准教授（2015年2月～） 埼玉大学大学院理工学研究科研究支援者（2011年4月～2015年1月） 京都産業大学益川塾自然科学系研究員（2010年4月～2011年3月）	
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	
教育研究概要		
	（キーワード）	
所属学会	日本物理学会	
受賞歴	なし	
担当科目	（教養科目）力と運動，微積分学（集中），数学【微分積分Ⅰ】，微積分学入門，微積分学基礎	

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

- 〔MISC〕速報，短報，研究ノート等（大学，研究機関紀要）・単著〕小西 康文「電子機器を活用した有効な数学教育への準備」，茨城大学全学教育機構論集，（2018年03月01日）

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

- 〔兼業〕一般財団法人 理数教育研究所(Rimse)・Rimse 東京懇談会内調査研究部会研究員（2017年05月～2018年03月）

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務（機構）

- 「全学教育機構人事委員」（2017年11月～）
- 「全学教育機構点検評価委員」（2017年05月～）
- 「大学教育センター基礎教育運営委員」（2015年02月～2017年03月）

○ 機構教員としての全学的活動（教学マネジメント）等

- 〔ブラクティカル・イングリッシュのクラス分け補助〕（2017年04月～）
業務内容：名簿および一覧表の作成
- 〔微積分学の統一授業の運営等〕（2017年04月～）
業務内容：取りまとめ
- 〔自然・環境・科学部会のFDの準備と実施〕（2017年04月～）
業務内容：日程調整、司会進行など
- 〔TOEIC一斉テストに関する業務〕（2015年07月～）
業務内容：集計および解析
- 〔RENANDI・クリッカー講習会〕（2015年04月～2017年03月）
業務内容：クリッカーの説明を担当
- 〔情報教育専門部会のFDの補助〕（2015年04月～2017年03月）
業務内容：FDの運営補助

7. [総合英語のクラス分け補助] (2015年04月～2017年03月) 業務内容：名簿および一覧表の作成
8. [微分積分Ⅰの統一授業の運営等] (2015年04月～2017年03月) 業務内容：取りまとめ
9. [基礎教育科目のアンケートの集計] (2015年02月～) 業務内容：取りまとめ
10. [微分積分Ⅱの統一授業の運営等] (2015年02月～2017年03月) 業務内容：取りまとめ
○ その他の校務 → 当該年に該当データなし

共通教育部門	氏名 菊池 武
---------------	----------------

職名	准教授
学位	英語教授法修士 [コロンビア大学大学院ティーチャーズカレッジ]
学歴	コロンビア大学大学院 ティーチャーズカレッジ 修士課程 英語教授法修士課程 [2003年02月卒業] 立教大学 文学部 英米文学科 [1984年03月卒業]
職歴	いわき明星大学人文学部 (2011年4月～2015年3月) 教養学部 (2015年4月～2018年3月) 准教授 (2011年4月～2018年3月) 獨協大学外国語学部英語学科 (2007年4月～2008年3月) 法学部総合政策学科 (2008年4月～2011年3月) 特任講師 (2007年4月～2011年3月) 獨協大学非常勤講師 (2006年4月～2007年3月) 茨城大学非常勤講師 (2003年4月～2011年3月) いわき明星大学非常勤講師 (2003年10月～2011年3月) 茨城県教育委員会教諭 (1984年4月～2003年3月)
専門分野	英語教育
教育研究 概要	第二言語習得研究から得られる様々な知見を、外国語として英語を学ぶ環境においていかに効果的に反映させるか探究する。また、自律的な学習者育成の視点から、発音指導が持つ意義についても考察する。 (キーワード) 英語教育、第二言語習得研究、発音指導、自律学習支援、学習ストラテジー
所属学会	全国語学教育学会、大学英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(着任前のため該当なし)

平成30年度着任

共通教育部門		氏名 SCHMIDT=Fajlik Ronald
職名	准教授	
学位	D. Ed. [University of South Africa] M. Ed. [University of Manchester] B. Ed. [University of Toronto] B. F. A. [York University (Toronto)]	
学歴	University of South Africa Didactics 博士課程 (South Africa) [2014年10月] University of Manchester English Language Teaching 修士課程 Master of Education in English Language Teaching (M. Ed. ELT). (England) [2000年修了] University of Toronto 教育学部 (Canada) [1993年卒業] York University 芸術工学部 (Canada) [1991年卒業] Humber College Audio-Visual Production, Television [1986年卒業]	
職歴	4/05-present Ibaraki University. Full-time tenured Associate Professor. 10/00-3/05 Josai International University. Full-time Lecturer. 4/97-3/99 Kyohei Senior High School. English teacher. 4/95-3/97 Honjo Daiichi Senior High School. English teacher. 3/94-4/95 Misugi Junior High School. Assistant English teacher.	
専門分野	English language teaching pedagogy, intercultural communication	
教育研究 概要	Intercultural communication Interpersonal competence Multiple intelligences theory in second language education. Space in visual art. Nonverbal communication. Interpersonal competence. (キーワード) 異文化コミュニケーション 個人教育 視覚文化 コンピュータ支援型言語学習 英語教育	
所属学会		
受賞歴	Best Presentation of Chiba JALT 2003 (2004)	
担当科目	(教養科目) Integrated English IIA, Integrated English IIB (専門科目) ESIC II, Media English, 基礎演習, 専門演習 I (Language Learning), 英語圏の文化と社会, 専門演習 III (Language Learning), ESIC III, ESIC IV, 専門演習 II (Language Learning), Cross-cultural communication, 専門演習 IV (Language Learning), 卒業研究 (人文: 8単位) (大学院科目) Teaching Media English	

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [著書・単著] Ronald Schmidt-Fajlik "Interpersonal Competence in the Learning of the English Language (2017 revision)", CreateSpace, (2018年01月08日)

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

English speech contest judge at Kosen High School in Hitachinaka. Assisted junior high school students in preparing for the 'Interactive English' conversation contest. Gave a presentation to Gakken teachers in Ibaraki on how to use English in the classroom.

平成 29 年度における国際交流活動

Assisted students in preparing for the McGill University exchange programs by giving a presentation about the program and coordinating with organizers in Canada. Arranged for academic international contacts

with overseas universities such as Comenius University in Slovakia.

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務（機構）

→ Served on the committee to create, revise, and edit questions on the English section of the entrance exam for the Department of Humanities. Proof reading the English entrance exam for the Faculty of Education. Marking the entrance exam for the Department of Humanities.

○ 全学的委員会の業務

→ 当該年に該当データなし

○ 機構教員としての全学的活動（教学マネジメント）等

→ Provided English conversation practice sessions for students (English conversation training).

○ その他の校務

→ Edited promotional material in English for Ibaraki University.

共通教育部門

氏名 清水 恵美子

職名	准教授
学位	修士（学術） [茨城大学] 博士（学術） [お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 国際日本学専攻 [2008年修了] 茨城大学大学院 人文科学研究科 修士課程 文化構造専攻 [2003年修了]
職歴	茨城大学全学教育機構共通教育部門(兼務) (2017年4月～2018年3月) 茨城大学社会連携センター准教授 (2015年2月～2018年3月) 茨城大学五浦美術文化研究所所員 (2015年11月～) お茶の水女子大学生活科学部学部教育研究協力員 (2013年～2015年) お茶の水女子大学お茶大アカデミック・プロダクション特任リサーチフェロー (2011年～2012年) 国士舘大学文学部非常勤講師 (2010年～2015年) 芝浦工業大学工学部非常勤講師 (2010年～2015年) お茶の水女子大学生活科学部非常勤講師 (2010年～2015年) お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター客員研究員 (2009年～) お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科研究院研究員 (2008年～2011年) 茨城大学人文学部・大学共通センター非常勤講師 (2006年～2015年)
専門分野	比較文学比較文化、日本近代美術史
教育研究概要	岡倉天心に関する研究（岡倉の思想と生涯の活動について、晩年の五浦・ボストン往復時代を中心に、美術史、芸術思想史、比較文学比較文化、文化交流史、近代日本史など多角的な領域から研究） 日本美術院、岡倉由三郎、柳宗悦、飯村丈三郎、新納忠之助、日米印の美術交流に関する研究 地域志向教育に関する研究 授業は「茨城学」「5学部混合地域 PBL I」「5学部混合地域 PBL II」を担当

④ 教員の活動に関する主要データ

	(キーワード) 岡倉天心(覚三) 近代美術史 比較文学比較文化 地域史 文化交流史 芸術思想史 地域志向教育 アクティブ・ラーニング PBL
所属学会	明治美術学会 日本フェノロサ学会 文化資源学会 日本比較文学会 明治維新史学会
受賞歴	いばらきデザインセレクション 2017 知事選定 (学術的監修) (2017) 文化庁 平成 24 年度 (第 63 回) 芸術選奨文部科学大臣新人賞 (評論等部門) (2013)
担当科目	(教養科目) 茨城学, 地域志向系科目【茨城学】/茨城学 (基盤教育科目) 茨城学 (全学共通科目) 5 学部混合地域 PBL I, 5 学部混合地域 PBL II, 5 学部混合地域 PBL IA, 5 学部混合地域 PBL IIA

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [単行本(一般書)・分担執筆] 茨城大学社会連携センター・五浦美術文化研究所「岡倉天心 五浦から世界へ—茨城大学国際岡倉天心シンポジウム 2016」, 思文閣出版, 95-112, 113-126, 131-138, 140-142, 183-198 (2018 年 01 月 25 日) 2. [単行本(学術書)・共著] 近代茨城地域史研究会(佐々木 寛司, 清水 恵美子, 桐原 健真, 木戸 之都子, 皆川 昌三, 天野 真志, 門馬 健, 飯塚 彬, 林 真美)『近世近代移行期の歴史意識・思想・由緒』, 岩田書院, (2017 年 10 月 01 日) 3. [研究論文(学術雑誌)・単著] 清水恵美子「地域志向教育における『5 学部混合地域 PBL』の取り組み: まちづくりと企業経営を学ぶ PBL I・II を中心に」, 『茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究』, 1, 13-23 (2018 年 03 月) 4. [研究論文(学術雑誌)・単著] 清水恵美子「五浦の 10 年を考える—岡倉覚三(天心)と日本美術院の五浦時代」, 『茨城県近現代史研究』, 1, 54-67 (2017 年 04 月) 5. [(MISC) 会議報告等・単著] 清水恵美子「第 14 回天心忌茶会 天心忌茶会に参加して」, 『江戸千家便覧 ひとゝき草』, 129, 29 (2017 年 10 月) 6. [(MISC) 総説・解説(商業誌)・単著] 清水恵美子「岡倉天心とコーヒー」, 『COFFEE JOURNAL』, 66 (2017 年 09 月) <p>○ 学会発表等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [口頭発表(基調)・国際会議(単独)] 清水恵美子「岡倉覚三(天心)の思想と生涯—茨城大学所有 五浦の六角堂を中心に—」ジェンドラル・スディルマン大学 一般講義(インドネシア共和国 ジェンドラル・スディルマン大学) [2017 年 11 月 22 日] 2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 清水恵美子「洋々無限—岡倉天心・覚三と由三郎」土曜アカデミー新著を語る 岡倉天心セミナー vol. 2 (茨城大学図書館) [2017 年 11 月 18 日] 3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(共同)] 藤原貞郎、清水恵美子「世界のなかの Kakuzo Okakura」土曜アカデミー 岡倉天心セミナー vol. 1 (茨城大学図書館ライブラリーホール) [2017 年 07 月 29 日]
--

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

<p>○ 学協会での役職</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ひたちなか市産業活性化戦略会議, 委員長 (2018 年 03 月～) 2. 茨城新聞社創刊 125 周年記念事業みんなで選ぼう!“茨城の宝” いばらきセレクション 125, 選考委員 (2017 年 01 月～2017 年 11 月) <p>○ 学外教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)] 県北ジオパーク インタープリター養成講座「茨城県北と日本美術院」, 3 時間, 60 名出席, 県北ジオパーク推進協議会、筑波銀行、県北生涯学習センター(連携)

協定あり)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「シンポジウム『飯村丈三郎』」, 題目「飯村常三郎と芸術・文化」, 飯村丈三郎研究会(水戸市) [招待講演, パネリスト] 常陽芸文センター (2017年09月30日)
2. 「天心忌セミナー 講演会(国内)」, 題目「岡倉天心と弟・由三郎—横浜時代をめぐって—」, 五浦日本美術院岡倉天心偉績顕彰会 [招待講演] 五浦観光ホテル別館大観荘 (2017年09月02日)
3. 「石州流茶道水戸何陋会講演会(国内)」, 題目「岡倉天心と飯村丈三郎の茶—『茶の本』と水戸何陋会の茶事—」, 石州流茶道水戸何陋会(水戸市) [招待講演] フェリヴェールサンシャイン 水戸 (2017年07月08日)
4. 「水戸でコーヒーを楽しむ会(国内)」, 題目「岡倉天心はコーヒーを飲んだか?」, 日本コーヒー文化学会・日本コーヒー文化学会茨城支部 [招待講演] 常陽芸文センター (2017年06月25日)

○ 地域協力活動

1. 茨城大学五浦美術文化研究所 [地域貢献事業] 「岡倉天心(覚三)の遺産展 vol.2 五浦の日常と日本美術院」 (2017年11月)

平成29年度における科学研究費補助金などの受領

1. [科研費] 科学研究費補助金(基盤研究(C)) (代表) 「世紀転換期における『日本』の語り—岡倉覚三と岡倉由三郎を中心とした比較文学的研究」 (2015年09月~2018年03月)

平成29年度における国際交流活動

- 1) [教育交流] 「一般講義」 (連携協定あり) [Memorandum of Understanding between Jenderal Soedirman University, Indonesia and Ibaraki University, Japan] ・ジェンドラル・スディルマン大学(インドネシア共和国)
2017年11月~2017年11月 相手方参加者数: 教職員10名、学生150名 本学参加者数: 教職員1名
活動内容: Keynote Speaker "The Life and Ideology of Okakura Kakuzo: The Spirit of Izura Pagoda"

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 全学的委員会の業務

「COC統括機構委員会」 [委員] (2015年02月~)

「COC地域志向教育プログラム委員会」 [委員長] (2017年04月~)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [全学教育機構] (2017年04月~)

業務内容: 共通教育部会 COC地域志向教育プログラム部会長、初年次教育部会(茨城学)

「茨城学」FD・SDの主催 自治体代表者・本学教職員・学生合同開催 (2017年05月10日)

「茨城学」組織的な取り組みの実践 連携10自治体・鹿島アントラーズFC・本学教員との個々の打ち合わせによる講義内容の質の保証、COC/COC+コーディネーター・TA・社会連携センター職員による運営体制の構築

「5学部混合地域PBL I」社会連携による取り組みの実践 連携先(ひたちなか株式会社等)の授業への協力体制の強化

「5学部混合地域PBL II」社会連携による取り組みの実践 連携先(株式会社サザコーヒー等)の授業への協力体制の強化

2. [五浦美術文化研究所] (2016年02月~)

業務内容: 所員

「岡倉天心セミナーvol.1」講師 (2017年7月29日)

④ 教員の活動に関する主要データ

「岡倉天心セミナーvol. 2」講師 (2017年11月18日)
 所蔵作品展「岡倉天心(覚三)の遺産展 vol. 2」企画・監修 (2017年11月10日～26日)
 『岡倉天心 五浦から世界へ 茨城大学国際岡倉天心シンポジウム2016』編集 (2018年1月25日刊)

3. [COC 統括機構 (COC)] (2015年02月～)
 業務内容：COC 統括委員会委員、COC 地域志向教育プログラム委員会委員長 (2017年04月～)

○ その他の校務
 学生支援活動(顧問)

1, COC 企画型地域人材育成プロジェクト「日本一つながる学食プロジェクト」 (2016年04月～)
 茨城県天心記念五浦美術館開館20周年企画展「龍を描く」 (2017年10月25日～11月26日) とコラボレーションし土産品を企画・考案、株式会社坂東太郎の協力により「りゅうなんしえ」として販売

2, COC 企画型地域人材育成プロジェクト「農プロ：現場から学ぶ茨城学～畑で広げる地域の『わ』～」 (2016年04月～)

3, COC 企画型地域人材育成プロジェクト「イバラキカク」 (2017年4月～2018年03月)

4, COC 企画型地域人材育成プロジェクト「ジュニア・エコノミーカレッジ in 水戸」 (2017年04月～2018年03月)

5, 学生地域参画プロジェクトスタートアップ「ひたちなか表町活性化プロジェクト」 (2017年10月～2018年03月)

共通教育部門 **氏名 佐藤 伸也**

職名	准教授
学位	DOCTOR of PHILOSOPHY [サセックス大学]
学歴	サセックス大学大学院 エンジニアリング・インフォマティクス研究科 博士課程 インフォマティクス専攻 [2015年05月修了] 東京理科大学大学院 理工学研究科 博士課程 情報科学専攻 [2002年03月単位取得満期退学] 東京理科大学大学院 理工学研究科 修士課程 情報科学専攻 [1998年03月修了] 東京理科大学 理工学部 情報科学科 [1996年03月卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構准教授 (2017年4月～) 茨城大学大学教育センター准教授 (2015年9月～2017年3月) サセックス大学エンジニアリング・インフォマティクス研究科、インフォマティクス専攻准チューター (2014年2月～2014年4月) 姫路獨協大学経済情報学部准教授 (法改正による職名変更) (2007年4月～2012年3月) 姫路獨協大学大学院経済情報研究科准教授 (法改正による職名変更) (2007年4月～2012年3月) ロンドン大学キングスカレッジコンピュータサイエンス学部客員研究員 (2006年9月～2007年8月) 姫路獨協大学大学院経済情報研究科助教授 (2005年4月～2007年3月) 姫路獨協大学経済情報学部助教授 (2004年4月～2007年3月) 姫路獨協大学経済情報学部専任講師 (2002年4月～2004年3月)
専門分野	情報学基礎理論 計算機システム ソフトウェア

教育研究 概要	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報リテラシー（前期科目 2 コマ、夏季集中科目）：大学生活・社会人生活を送る上で不可欠な情報処理技術として、情報倫理、メール・ブラウザの活用、及び Office ソフト (Word, Excel, PowerPoint) を利用した情報の整理収集・アウトプット方法の学習を行う。大学内のコンピュータや自身の持つコンピュータを利用した演習を通して、それら技能を習得する。人文社会科学部を対象としたリテラシー教育として適切な教科書が見当たらないため、ほぼすべての授業にて自作のテキストを配布している。1 クラス 72 名という大人数を対象としているため、TA とチームを組みながら受講生のサポートを行っている。 ・計算機科学への招待（後期科目 3Q、4Q）：計算機科学について平易に解説し、特に計算機科学の父とも呼ばれるチューリングに焦点を当てながらコンピュータの動作原理について理解を深めることを目標に実施している。内容は数学的な考察力が必要になるため、テキストをなるべく分かりやすいように作成し、授業内で理解できないところの復習が行えるようにしている。 <p>【研究】</p> <p>インタラクシオンネットという理論的な計算体系を用いて、マルチコア CPU にて自動的に並列実行可能なプログラミング言語の作成を行っている。現在、Python や Standard ML などのインタプリタ言語と同等の実行速度を得ており、並列実行時にはコア数に応じての速度向上が見込めているが、メモリを多用する計算に対しての速度向上率の低さが課題になっている。今後はメモリ利用の最適化に取り組み、さらなる速度向上を考えている。</p> <p>（キーワード）インタラクシオンネット プログラミング言語 形式手法 項（グラフ）書き換え系</p>
所属学会	Association for Computing Machinery
受賞歴	なし
担当科目	（基盤科目）情報リテラシー，（教養科目）情報処理概論，（基盤科目）計算機科学への招待

平成 29 年度における研究業績

佐藤伸也，「授業支援システム RENANDI の利用状況報告」，全学教育機構論集（大学教育研究）．（2018 年 10 月提出、掲載予定）

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

2018 年 12 月 15 日，「Keras/Python3 で学ぶ ディープラーニングによる時系列データ解析入門【導入編】」，講師，学習分析学会。

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務（機構）

1. 「点検評価委員会」（2017 年 04 月～）
2. 「総合教育企画部門委員」（2018 年 04 月～）
3. 「機構ウェブタスクフォース」（2018 年 01 月～）

○ 全学的委員会の業務

「教務情報ポータルシステム専門委員会」（2017 年 04 月～）
「情報環境整備専門委員会」（2015 年 09 月～）

○ 機構教員としての全学的活動（教学マネジメント）等

1. [ALC 用サーバー管理]（2016 年 09 月～）
2. [RENANDI 管理運用]（2016 年 09 月～2018 年 03 月）

④ 教員の活動に関する主要データ

○ その他の校務

1. [基盤・教養科目事前申告抽選作業] (2017年02月～)
2. [英語コミュニケーショントレーニング予約サイトの作成・管理・運用] (2016年10月～)
3. [IT基盤センター 教育IT推進部門 部門長] (2016年09月～)

共通教育部門

氏名 上田 敦子

職名	准教授
学位	修士(国際コミュニケーション) [青山学院大学]
学歴	青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 修士課程 国際コミュニケーション [2001年修了] 青山学院大学 文学部 英米文学科 [1985年卒業]
職歴	株式会社公文教育研究会 [1985年～1998年] 茨城大学 [2003年～現在に至る] 常磐大学(非常勤講師として) [1985年～1998年] 放送大学(非常勤講師として) [2015年、2018年～]
専門分野	外国語教育
教育研究概要	●Accuracyが重要視されがちな日本の英語教育の中で、文法的な正確さだけでなく、Fluencyを高める英語教育の研究と実践。多読および多聴を用いた授業の研究。 ●学習スタイル、learning intelligence についての研究、授業への応用 ●生涯学習としての英語教育、英語学習 (キーワード) 多読、多聴、生涯学習
所属学会	全国語学教育学会 Asia TEFL (アジア英語教育学会)
受賞歴	茨城大学推奨授業 (2005)
担当科目	(教養科目) Integrated English IIA, 総合英語(レベル3), Integrated English IIB

平成29年度における研究業績

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] Atsuko Ueda and Sachiyo Nomura "Enhancing Speech Performance and Boosting Confidence of False Beginner Students" Asia TEFL 2017 (Yogyakarta, Indonesia) [2017年07月15日]

平成29年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本多読学会, 世話人 (2006年12月～)

平成29年度における科学研究費補助金などの受領

(学内) 平成29年度後期茨城大学女性エンパワーメント支援制度 助成受領

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

→施設予算委員会 委員

入試採点委員

人事選考委員会 委員

共通教育部門

氏名 山崎 大

職名	准教授
学位	修士(理学) [東京大学] 博士(理学) [東京大学]
学歴	東京大学大学院 理学系研究科 修士課程 天文学専攻 [2004年03月修了] 東京大学大学院 理学系研究科 博士課程 天文学専攻 [2007年03月修了]
職歴	2004年4月～2006年3月 国立天文台リサーチ・アシスタント 2006年4月～2007年3月 日本学術振興会特別研究員(DC2) 2007年4月～2008年3月 日本学術振興会特別研究員(PD) 2008年4月～2009年3月 国立天文台研究支援員 2009年4月～2011年3月 Postdoctoral Fellow, Academia Sinica, Institute of Astronomy and Astrophysics (Republic of China) 2011年4月～2014年3月 国立天文台研究員 2014年4月～2015年2月 千葉工業大学学習支援センター学習支援員(専任講師相当) 2014年4月～現在に至る 国立天文台特別客員研究員 2015年2月～2017年3月 茨城大学 大学教育センター 准教授 2017年4月～現在に至る 茨城大学 全学教育機構 准教授(所属部署の名称変更)
専門分野	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究 概要	1. 「研究」 初期宇宙の物理過程に対する原初磁場の影響を研究。特に、相対論的宇宙論と電磁流体力学に対応した、原初磁場の空間分布を数値的に計算するプログラムを開発し、統計的な手法を駆使し、宇宙背景放射と物質密度場に対する原初磁場の影響に関する研究の発展に貢献してきた。最近、観測事実をもとに理論モデルを検証する観測的宇宙論の手法により、原初磁場を考慮したビッグバン元素合成やダークマター候補となるX粒子探索等の素粒子論・原子核理論に関連する研究も行っている 2. 「教育」 物理学と数学の授業について、その成績と授業出席について統計的に調査し、その結果を反映した基礎教育改善のための授業計画の立案、教材・板書ノート・教科書作成、および試験問題作成を行う。また、学習相談の専用窓口で、多くの学生の学習相談に対応しつつ、より多くの学生が気兼ねなく学習相談できる環境の改善を推進してきた。 (キーワード) 宇宙論 宇宙背景放射 原初磁場 大規模構造形成 ビッグバン元素合成
所属学会	日本天文学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 微積分学, 力学入門, 力学基礎, 物理学【力と運動】/力と運動

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著] 山崎大「2016年度 茨城大学における理系学習相談の教育実践報告」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, 1, 157-163 (2018年03月)
2. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】【依頼/招待】] Takuya Akahori, Hiroyuki Nakanishi, Yoshiaki

④ 教員の活動に関する主要データ

Sofue, Yutaka Fujita, Kiyotomo Ichiki, Shinsuke Ideguchi, Osamu Kameya, Takahiro Kudoh, Yuki Kudoh, Mami Machida, Yoshimitsu Miyashita, Hiroshi Ohno, Takeaki Ozawa, Keitaro Takahashi, Motokazu Takizawa, Dai G. Yamazaki "Cosmic magnetism in centimeter- and meter-wavelength radio astronomy", Publications of the Astronomical Society of Japan, 1-44 (2018年01月)

3. [研究論文(国際会議プロシーディングス)・共著【査読あり】] D. G. Yamazaki, M. Kusakabe, T. Kajino, G. J. Mathews, and M. K. Cheoun "The new BBN model with the photon cooling, X particle, and the primordial magnetic field", JPS Conference Proceedings, 14, 020104 (2017年08月)
4. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】【依頼/招待】] Dai G. Yamazaki, Motohiko Kusakabe, Toshitaka Kajino, Grant J. Mathews, Myung-Ki Cheoun. "The new hybrid BBN model with the photon cooling, X particle, and the primordial magnetic field", International Journal of Modern Physics E, 26, 1741006, 1-12 (2017年08月24日)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] Dai G. Yamazaki "CMB weak lensing with a primordial magnetic field" International Symposium on Cosmology and Particle Astrophysics (CosPA) 2017 [2017年12月14日]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 山崎 大「CMB B mode による原初磁場の制限について」日本天文学会 2017年秋季年会 [2017年09月]

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

1. 「Japan SKA Consortium」(2010年09月～)
2. 「日本天文学会 2017年秋季年会 宇宙論セッション」 「座長」(2017年09月)

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「原初磁場を考慮した複合ビッグバン元素合成モデルの展開」, 416万円 (2016年04月01日～2019年03月31日)

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 学術委員会」 [委員] (2017年04月～)
2. 「全学教育機構 共通教育部 自然・環境・科学部会」 [部会長] (2017年04月～)
3. 「微分積分の基礎テスト作成協力」 [微分積分の基礎テスト作成協力] (2015年02月～)
4. 「力学の基礎テスト作成・採点・クラス分け」 [力学の基礎テスト作成・採点・クラス分け] (2015年02月～)

○ その他の校務

1. 「科学の基礎質問室」(2017年04月～)
2. 「統一授業 力と運動」「eラーニング作成」「教材作成」「期末試験作成支援」「成績統計」(2015年02月～)
3. 「統一授業 微積分学」「eラーニング作成」「教材作成」「期末試験作成支援」「成績統計」(2017年04月～)
4. 「力学教科書編集委員会」 「委員長」 (2015年02月～)
5. 「教理解析への「微分積分の基礎」編集委員会」 「委員」 (2015年02月～)

共通教育部門 氏名 大森 真

職名	講師
学位	第二言語研究 修士 [ハワイ大学 マノア校]
学歴	<p>ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 修士課程 第二言語研究 (アメリカ合衆国) [2006年12月修了]</p> <p>ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 博士課程 第二言語研究 (アメリカ合衆国) [(年不明) その他] (博士課程単位修得後に帰国し、博士論文研究を推進中)</p>
職歴	<p>国立大学法人 茨城大学 全学教育機構 英語専任講師 (常勤) (2017年4月～)</p> <p>国立大学法人 茨城大学 大学教育センター 英語専任講師 (常勤) (2014年4月～2017年3月)</p> <p>非営利団体 アジア太平洋交流センター (Center for Asia Pacific Exchange) (ハワイ大学と提携し、ハワイ州政府に帰属する教育系非営利団体)</p> <p>講師兼カリキュラム専門家 (2011年6月～2012年8月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 第二言語研究学科 非常勤講師 [担当講座] 「第二言語習得論」 「第二言語教授法」 「第二言語教授法 読解と作文」 「第二言語教授法 聴解と会話」 (2007年8月～2012年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute リスニング・スピーキングセクション主任講師 (Lead Teacher) (非常勤) (2007年1月～2007年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute 非常勤講師 リスニング・スピーキングセクション (中級・上級) 担当 (学部生・大学院生対象) (2006年1月～2006年12月)</p>
専門分野	英語教育
教育研究 概要	<p>[教育]</p> <p>Integrated English III-A, III-B コーディネーターとして、H29年度からの新コースである2コースのカリキュラム、教材等作成、並びに運営を行った。</p> <p>Advanced English プランニング・ディレクターとして、H30年度開講の Advanced English III-A, III-B のカリキュラム、教材等作成を行った。</p> <p>PE 部会 FD 委員として、FD の企画運営を行った。H29年度の新しい試みとして、新人教員対象FD、矢嶋教員を招いての学生支援FDを実施した。後者は、部会内FDと全体FDの両方を実施した。</p> <p>English Lounge(英語学習相談)担当として、主として Integrated English III-A, III-B 受講者の学修支援を行った。</p> <p>[教育研究プロジェクト(Action Research Project)] 「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み：パフォーマンス評価におけるループリック開発」 自身がコーディネーターとしてカリキュラム作成・運営し、かつ自らも教えている Integrated English III-A, III-B、並びに習熟度の異なる Integrated English II-A, II-B において、プレゼンテーションとエッセイの詳細なループリックの開発と学生への公表による学修への意識の変化を調査する。プロジェクトリーダーとして、全学教育機構上田教員、矢嶋教員と共同研究を進めている。</p> <p>[研究プロジェクト] 「生徒達の英語に上積みするのを助ける」：英会話交流授業の会話分析 「生徒達の英語に上積みするのを助ける」ことを目的とした英会話交流プログラムを会話分析の手法を用いて分析し、1) 会話パートナー達は、どのようにして「生徒達の英語に上積みするのを助け」ているのか。2) 会話パートナー達は、各々違う手法で「生徒達の英語に上積みするのを助け」、生徒達に多様な会話体験や教育的体験を提供しているか。の2点を明らかにする。</p>

④ 教員の活動に関する主要データ

	(キーワード) (応用) 会話分析、 成員性カテゴリー化分析、 異文化間性の構築、 英語教授法、 ループリック
所属学会	一般社団法人 大学英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) Integrated English IIIA, Integrated English IIIB

平成 29 年度における国際交流活動

1) 「国際交流サロンの英語図書整備」
2017 年～ 相手方参加者数： 本学参加者数：

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

1. 「総合英語/PE FD(教員研修)」 (2014 年 04 月～2018 年 03 月)
2. 「総合英語/PE クラス編成委員」 [副委員長(2017-)] (2014 年 04 月～)
3. 「入試採点」 (2017 年～)
4. 「Advanced English Planning Director」 (2017 年 04 月～2018 年 03 月)
5. 「Integrated English III コーディネーター」 (2017 年 04 月～)
6. 「英語学習相談(English Lounge)」 (Integrated English III-A, III-B 担当) (2014 年 4 月～)

共通教育部門

氏名 佐々木 友美

職名	講師
学位	修士 [University of Hawaii at Manoa]
学歴	上智大学大学院 外国語研究科 博士後期課程 言語学専攻 (日本) [2011 年 03 月中退] University of Hawaii at Manoa Department of Second Language Studies 修士課程 English as a Second Language (the U.S.A) [2003 年 05 月修了] 国際基督教大学 教養学部 語学科 (日本) [2000 年 03 月卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構講師 (2017 年 4 月～) 茨城大学人文学部講師 (2015 年 10 月～2017 年 3 月) マーケティング・リサーチ企業定性調査部門、リサーチコンサルティング部門リサーチャー、シニアリサーチャー (2011 年 9 月～2015 年 9 月) 亜細亜大学経営学部専任講師 (2009 年 4 月～2011 年 3 月) 防衛大学校総合教育学群外国語教育室助教 (2007 年 10 月～2009 年 3 月) 青山学院大学経営学部兼任講師 (2005 年 4 月～2007 年 9 月) 立教大学全学共通カリキュラム兼任講師 (2004 年 4 月～2007 年 9 月) 多摩大学経営情報学部非常勤講師 (2003 年 4 月～2005 年 3 月)
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) Second/foreign language education, Language socialization, Sociocultural theory, Qualitative research

所属学会	大学教育学会 大学英語教育学会 言語文化教育研究学会 大学英語教育学会 International Society for Cultural and Activity Research (ISCAR)
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) Integrated English IIA, Integrated English IIB

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ その他の校務

1. [プラクティカル・イングリッシュ専門部会 部会長] (2017 年 04 月～2018 年 07 月)

共通教育部門

氏名 鈴木 聡子

職名	講師
学位	Ed.D [Temple University, Japan Campus] M.Ed [Temple University, Japan Campus]
学歴	Temple University, Japan Campus Graduate College of Education 修士課程 TESOL [2007 年修了] Temple University, Japan Campus Graduate College of Education 博士課程 Curriculum, Instruction, and Technology [2017 年修了]
職歴	青山学院大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 文教大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 日本大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 文教大学非常勤講師 (2009 年 4 月～2016 年 3 月) テンプル大学ジャパンキャンパス生涯教育プログラム非常勤講師 (2009 年 9 月～2011 年 4 月) 青山学院大学非常勤講師 (2007 年 4 月～2016 年 3 月)
専門分野	外国語教育
教育研究概要	音声録音再生ソフトを用いた発音・リスニング・スピーキング指導とその効果の検証 (キーワード) 発音・リスニング・スピーキング・CALL
所属学会	外国語教育メディア学会 (LET)
受賞歴	なし
担当科目	(着任前のため該当しない)

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [学位論文(博士)・単著] "The Effect of Computer-Assisted Oral Reading While Listening on L2 Speaking Fluency", ProQuest No. 10268406 (2017 年 05 月)

平成 30 年度に着任

④ 教員の活動に関する主要データ

共通教育部門		氏名 館 深雪
職名	講師	
学位	教育学部英語教育学科学士[ボブ・ジョーンズ大学] 教育学研究科修士課程心理教育学修士[ボブ・ジョーンズ大学大学院] アーツ・サイエンス研究科修士課程心理教育学専攻言語教育修士[国際基督教大学]	
学歴	国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科修士課程 修士課程 心理教育学専攻言語教育(日本) [2015年03月修了] ボブ・ジョーンズ大学大学院 修士課程 カウンセリング科(アメリカ合衆国) [2000年05月修了] ボブ・ジョーンズ大学 教育学部 英語教育学科(アメリカ合衆国) [1998年05月卒業]	
職歴	茨城大学 全学教育機構講師(2015年2月～) 株式会社ゼウス・エンタープライズバイリンガル・コーディネーター課課長(2008年9月～2013年3月) Calvary Christian Academy(北マリアナ諸島サイパン島) 英語教師(中等部、高等部)(2000年8月～2007年7月)	
専門分野	英語教育、言語教育、カウンセリング	
教育研究概要	コミュニケーション コンペテンスに対するコミュニケーション意欲の影響を調査し、大学英語教育および企業英語使用現場にて取り入れるための方法における研究 (キーワード) コミュニケティブ コンペテンス、コミュニケーション意欲、企業英語	
所属学会		
受賞歴	なし	
担当科目	(教養科目) Integrated English IIIA, 表現・言語系科目, Integrated English IIIB, 表現・言語系科目, 総合英語(学術), 人間とコミュニケーション	

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会・入試などの業務(機構)</p> <p>Global English Program 部会員(2017年4月～)</p> <p>○ 全学的委員会の業務</p> <p>Global English Program 部会員(2017年4月～現在): 実施に向けての計画等</p> <p>○ 機構教員としての全学的活動等</p> <p>コミュニケーション トレーニングの実施: 全学の学生対象の英語会話レッスン 茨城大学 ESS 主催、英語スピーチ学長杯審査員(2016年、2017年)</p> <p>○ その他の校務</p> <p>大学資料の英訳: 授業アンケートやディプロマポリシー等(2015年～2017年)</p>
--

学生支援部門	氏名 小磯 重隆
--------	----------

職名	准教授
学位	修士（法学） [筑波大学]
学歴	金沢大学大学院 社会環境科学研究科 博士後期課程 [（年不明）中退]
職歴	
専門分野	教育社会学
教育研究概要	(キーワード) キャリア教育、労働法、職業能力開発、男女共同参画、地方創生
所属学会	日本キャリア教育学会 日本産業教育学会 日本労働法学会 日本キャリアデザイン学会
受賞歴	日本学術振興会「科研費」 審査委員 表彰 (2016)
担当科目	(教養科目) 公共社会

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [共著] 小磯重隆、菊池美也子、小泉崇人「茨城大学生の合同企業説明会に関する現状と課題」, 茨城大学全学教育機構論集, 大学教育研究第 1, 131-140 (2018 年 03 月) 2. [単著] 小磯 重隆「多人数アクティブラーニング実践モデルの研究」, 茨城大学全学教育機構論集, 大学教育研究第 1, 53-66 (2018 年 03 月)

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

<p>○ 行政機関等での委員就任</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「第 1 回「茨城労働局新卒者等就職・採用応援本部」会議及び「茨城県離学者支援協議会」」茨城労働局 職業安定部長 <p>○ 学協会での役職</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弘前市総合計画審議会, 弘前市総合計画審議会委員 (2016 年 04 月～2017 年 06 月) 2. 青森県産官学人財育成パートナーシップ協議会, 青森県産官学人財育成パートナーシップ協議会 (副会長) (2016 年 04 月～2017 年 06 月) 3. 弘前市男女共同参画プラン懇話会, 弘前市男女共同参画プラン懇話会 (会長) (2015 年 04 月～2017 年 06 月) <p>○ 学外教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [その他] 「キャリア形成の基礎 (弘前大学医学部保健学科第 1 回目)」, 2 時間, 200 名出席, 2. [その他] 「キャリア形成の基礎 (弘前大学医学部医学科第 2 回目)」, 2 時間, 110 名出席, 3. [その他] 「キャリア形成の基礎 (弘前大学医学部医学科第 1 回目)」, 2 時間, 110 名出席, 4. [その他] 「キャリア形成の基礎 (弘前大学教育学部第 2 回目)」, 2 時間, 170 名出席, 5. [その他] 「キャリア形成の基礎 (弘前大学教育学部第 1 回目)」, 2 時間, 170 名出席, <p>○ 地域協力活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 青森県若年者就職支援センター (ジョブカフェあおもり) [地域貢献事業] 「教職員のための「キャリア相談員養成研修 (八戸)」講師」 (2017 年 12 月) 2. 防衛省自衛隊茨城地方協力本部 (2017 年 08 月) 3. 国立大学キャリア支援担当者情報交換会 (2017 年 08 月) 4. 茨城県キャリア支援ネットワーク (2017 年 07 月)

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 「多人数アクティブラーニング実践モデルの研究」, (2015年04月01日～2018年03月31日)

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務（機構）

1. 「就職支援・キャリア教育推進部会」 [構成員] (2017年07月～)
2. 「全学教育機構 学生支援部門会議」 [構成員] (2017年07月～)
3. 「茨城大学 COC 統括機構 COC 地域共生委員会」 [委員] (2017年07月～)
4. 「茨城大学地元就職推進委員会」 [委員] (2017年04月～)

○ 全学的委員会の業務

「社会連携センター地域連携部門会議」 [委員] (2017年07月～)

「点検評価委員会」 [委員] (2017年07月～)

「教務ポータル専門委員会」 [委員] (2017年07月～)

○ その他の校務

1. [平成 29 年度茨城大学オープンキャンパス] (2017年07月)

業務内容：「保護者のための就職講座」大学と保護者でつくる就職支援 講話「自分の子どもに” どんな就職” をさせたいですか」担当：小磯

学生支援部門

氏名 矢嶋 敬紘

職名	講師
学位	修士（教育学） [茨城大学]
学歴	早稲田大学 人間科学部 [（年不明）卒業] 茨城大学大学院 教育学研究科 修士課程 [（年不明）修了]
職歴	
専門分野	社会福祉学 臨床心理学
教育研究 概要	
	(キーワード)
所属学会	日本心理臨床学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 健康の科学

平成 29 年度における研究業績

茨大なんでも相談室及びバリアフリー推進室の利用状況と今後の課題 矢嶋敬紘, 額賀沙弥香, 門馬綾, 曾田陽子, 沼田世里, 深谷佳子, 中井川香梨, 西川陽子 -- 茨城大学全学教育機構, 2018-3, 茨城大学全学教育機構論集.

大学教育研究 no.1 p.141-156 紀要論文

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務（機構）

→ 学生支援部門会議

学生生活支援部会

バリアフリー推進会議

全学教育機構 web サイト開設準備 TF

④ 教員の活動に関する主要データ

国際教育部門		氏名 安 龍洙
職名	教授	
学位	博士（文学）〔東北大学〕	
学歴	東北大学大学院 文学研究科 博士後期課程 言語科学専攻 2000年修了	
職歴	茨城大学留学生センター助教授（2003年4月～2008年3月） 茨城大学留学生センター教授（2008年4月～2017年3月） 茨城大学全学教育機構教授（2017年4月～）	
専門分野	日本語教育	
教育研究概要	日本社会における異文化理解の変容に関する事例研究 日本社会における外国人（①ニューカマー②オールドカマー③その他）と日本人（①外国人との接触頻度の高い日本人②外国人との接触頻度の低い日本人③その他）の異文化理解のあり方及びその変容について PAC分析法を用いて認知的・情意的な観点から探っている。 (キーワード) 異文化理解、PAC分析法、外国人と日本人の相互理解、質的研究	
所属学会	国立大学留学生指導研究協議会 アジア・ヨーロッパ未来学会 日本語教育学会 第二言語習得研究会	
受賞歴	なし	
担当科目	(教養科目) 学術日本語 I, 表現・言語系科目 (短期海外研修 I), 多文化共生 (短期海外研修) (専門科目) 日本語教育概論, 日本語教授法演習	

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等
1. [(MISC) 研究発表要旨 (全国大会, その他学術会議)・共著【査読あり】] 太田亨, 安龍洙, 村岡貴子「韓国人理工系学部入学前予備教育生の「論理的文章」に関する意識について—第 18 期日韓プログラム生へのアンケート結果より—」, 第 20 回専門日本語教育学会研究討議会誌, 16, 28-29 (2018 年 03 月)
2. [研究論文 (大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】] 松田勇一・安龍洙「日本社会における中国人交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 69-84 (2018 年 02 月)
3. [研究論文 (大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】] 石鍋浩・安龍洙「日本社会における英語圏交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 57-68 (2018 年 02 月)
4. [研究論文 (大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】] 青木香代子・安龍洙「日本社会における東南アジア出身交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 13-28 (2018 年 02 月)
5. [研究論文 (大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】] 安龍洙「東欧出身短期留学生の日本留学観に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 1-12 (2018 年 02 月)
○ 学会発表等
1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議 (単独)] 「国立大学のグローバル化と留学生政策」平成 29 年度 第 7 回日本語学校進路指導研究会セミナー (専門学校東京テクニカルカレッジ 地下講堂) [2018 年 03 月 03 日]
2. [ポスター発表・国内会議 (共同)] 「韓国人理工系学部入学前予備教育生の「論理的文章」に関する意識について—第 18 期日韓プログラム生へのアンケート結果より—」第 20 回専門日本語教育学会研究討論会 (名古屋大学 東山キャンパス) [2018 年 03 月 02 日]

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職
1. 国立大学留学生指導研究協議会, 代表幹事 (2016 年 07 月～)
2. アジア・ヨーロッパ未来学会, 理事 (2011 年 01 月～)
○ 学外教育

(韓国) 慶熙大学校にて日韓プログラム予備教育課程 教育参画 (8月)
 (韓国) 仁済大学校学生の学生4名・教員1名を受入れ、特別講義実施 (7月)

○ 地域協力活動

留学生の地域学校への派遣

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 基盤研究(C) (代表) 「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究(研究代表者)」, (2017年04月01日～2021年03月31日)
2. [科研費] 基盤研究(B) (分担) 「非漢字圏アジア留学生のための日本語教育と理工系専門教育の高大接続を目指す協働研究(研究分担者)」, (2016年04月01日～2020年03月31日)

平成 29 年度における国際交流活動

- 1) (韓国) 仁済大学校における韓国語研修引率及び現地学生との交流実施 (本学学生参加者10名、8月11日～8月26日)

平成 29 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

日本語教育プログラム部会 (2017年04月～)

全学教育機構学生支援部門会議 (2017年04月～)

○ 機構教員としての全学的活動 (教学マネジメント) 等

留学生アンケートの実施

国際教育部門

氏名 八若 壽美子

職名	教授
学位	修士 (人文科学) [お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較文化学 [(2003年) 単位取得満期退学] お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程日本語文化専攻修了(1997年)
職歴	茨城大学全学教育機構教授 (2017年4月～) 茨城大学留学生センター教授(2006年4月～2017年3月) 茨城大学留学生センター助教授(2001年9月～2006年3月) 立命館アジア太平洋大学専任講師(2000年9月～2001年8月)
専門分野	日本語教育
教育研究概要	1. 教育概要: 外国語(第二言語)としての日本語教育、留学生教育、日本語教師養成 2. 研究概要: 元留学生のライフストーリー・インタビューから留学評価と日本語学習の関連についての研究を進めている。 (キーワード) 外国語(第二言語)としての日本語教育、自律的言語学習、留学評価、ライフストーリー
所属学会	日本語教育学会 ヨーロッパ日本語教師会 日本語文化学会
受賞歴	平成 14 年度茨城大学教育研究開発センター推奨授業表彰 (2003)

④ 教員の活動に関する主要データ

担当科目	(基盤教育科目) 学術日本語 IIB, 表現・言語系科目/思想・文学 (専門科目) 多文化社会と日本語教育, 日本語教授法演習 (大学院科目) 日本語表現法 I (日本語研修コース) 日本語レベル1 総合, 日本語レベル3 総合, 日本語レベル3 口頭表現
------	---

平成 29 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】] 八若壽美子「インドネシアで働く元交換留学生のライフストーリーに見る留学評価」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 1, 29-43 (2018年02月)

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 「日本語研修コース受講生ホームステイ」2017年06月02日～2017年06月04日
2. 「日本語研修コース受講生ホームステイ」2017年12月01日～2017年12月03日

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

1. 科学研究費補助金基盤研究(C)(課題番号 17K02839 研究代表者)「元留学生の留学評価と日本語学習との関連に関する実証的研究」

平成 29 年度における国際交流活動

1. 「アラバマ大学バーミングハム校講師によるセミナー」(アメリカ)2017年06月

平成 29 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構人事委員会」[委員](2017年11月～)
2. 「多文化理解部会」[委員](2017年04月～)
3. 「日本語教育プログラム部会」[部会長](2017年04月～)

○ その他の校務

1. 外国人留学生支援及びチューター指導に関する業務
 - ・「チューターガイダンス」(2017年04月05日)
 - ・「9月来日留学生サポート隊ガイダンス」(2017年9月20日)
 - ・「4月来日留学生サポート隊ガイダンス」(2018年3月30日)
2. 留学生と日本人学生の交流活動
 - ・「国際交流合宿研修」2017年07月01日～02日
 - ・「留学生・日本人学生協働発表会」2017年7月25日～28日

国際教育部門

氏名 池田 庸子

職名	教授
学位	修士 [ペンシルバニア州立大学]

学歴	ペンシルバニア州立大学大学院 比較文学科 修士課程 比較文学 (M.A) [1993年修了]
職歴	茨城大学留学生センター教授 (2010年4月～) 茨城大学留学生センター助教授 (2002年4月～2010年3月) 関西外国語大学助教授 (1998年4月～2002年3月) 関西外国語大学専任講師 (1993年9月～1998年3月) ペンシルバニア州立大学 TA (1991年9月～1993年8月) イースタンニューメキシコ大学 TA (1990年9月～1991年5月)
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本語教育、教材開発、文学教育、多読教育、留学生に対する質的研究 (キーワード) 日本語教育、教材開発、多読、
所属学会	日本語教育学会 日本語教育方法研究会 留学生教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 学術日本語Ⅱ/学術日本語ⅡA, 表現・言語系科目/思想・文学, 表現・言語系科目 (短期海外研修Ⅰ) (専門科目) 日本語教授法Ⅱ (日本語研修コース) 多読で学ぶ日本語, 日本語レベル1 (総合), 日本語レベル2 (読み書き), 日本語レベル2 (総合), 日本語レベル3 (総合)

平成 29 年度における研究業績

元留学生のライフストーリーに見る留学評価—研究者夫婦の場合—『茨城大学グローバル教育研究』1, 45-56、2018

平成 29 年度における社会的活動、地域貢献など

留学生の地域学校への派遣

平成 29 年度における科学研究費補助金などの受領

「元留学生の留学評価と日本語学習に関する実証的研究」科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号 17K02839
研究代表者: 八若壽美子)研究分担者

平成 29 年度における国際交流活動

フランスレンヌ第1大学との部局間交流協定締結担当
米国アイダホ州立大学との大学間交流協定締結担当
アラバマ大学バーミングハム校講師によるセミナー

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

1. グローバル化戦略タスクフォース
2. 就職支援・キャリア教育推進部会
3. 全学教育機構予算・施設委員会委員
4. 全学教育機構点検評価委員会
5. 日本語教育プログラム部会員

○ 全学的委員会の業務

「障害学生支援委員会」 (2017年04月～)

④ 教員の活動に関する主要データ

<p>○ 機構教員としての全学的活動（教学マネジメント）等</p> <p>1. [外国人学生のための進学説明会]（2017年07月）</p> <p>○ その他の校務</p> <p>1. グローバル教育センター主任</p> <p>2. 海外留学説明会実施補佐</p> <p>3. TOEFL 学内実施企画</p> <p>4. 日本語研修コース学外研修旅行の企画実施</p> <p>5. 茨城大学留学生同窓会</p> <p>6. 日本語研修コース継続性ガイダンス企画実施</p>

国際教育部門	氏名 青木 香代子
---------------	------------------

職名	講師
学位	教育学博士 [サンフランシスコ大学大学院]
学歴	サンフランシスコ大学大学院 教育学部 博士課程 国際・多文化教育（アメリカ合衆国） [2008年05月修了]
職歴	中央大学文学部事務室嘱託職員（2013年2月～2017年3月） 国際教養大学非常勤講師（2012年6月～2012年7月） 桑港学園日本語学校講師（2008年9月～2012年3月）
専門分野	教育学（多文化教育、異文化間教育、国際理解教育）
教育研究概要	専門は多文化教育。2016年～2018年にかけて、海外体験学習における参加学生の異文化間能力に関して、日本人性の視点をもとに分析・考察を行った。また、日本における多文化教育について、社会的正義のための教育（social justice education）の観点から研究を進めている。 (キーワード) 批判的教育学、白人性、日本人性、social justice education
所属学会	2004年4月～ 異文化間教育学会 2004年8月～2012年4月 National Association for Multicultural Education 2007年10月～ Comparative and International Education Society 2011年4月～ 日本移民学会 2012年4月～ 日本国際理解教育学会 2018年8月～ 日本教育社会学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 表現・言語系科目/グローバルスタディーズ (Multicultural Japan, Social Issues in Japan), 人間・文化系科目/多文化共生 (日本語研修コース) 日本語レベル1 (総合), 日本語レベル2 (総合), 日本語レベル3 (総合)

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本 (学術書)・単著] 青木香代子「コラム：サンフランシスコ・ベイエリアの在日コリアングループ」河原典史・木下昭編『移民が紡ぐ日本—交錯する文化のはざままで—』, 文理閣, 172-179 (2018年)</p> <p>2. [研究論文 (学術雑誌)・【査読あり】] 「海外日本語教師アシスタント実習プログラムにおける異文化</p>

- 間能力ー日本人性に着目してー」, 異文化間教育, 47, 35-49 (2018年03月)
3. [共著【査読あり】] 青木香代子、安龍洙「日本社会における東南アジア出身交換留学生の異文化理解に関する一考察」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 1, 13-27 (2018年02月)
 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・【査読あり】] 青木香代子「海外体験学習プログラムを体験した学生はどのように日本、派遣国、自己を見ているかー参加学生の記述に見られた「日本人性」をめぐってー」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 1, 105-116 (2018年02月)
- 学会発表等
1. [その他・国内会議(単独)] 特定課題研究「海外日本語教師アシスタント実習プログラムにおける異文化間能力ー日本人性に着目してー」異文化間教育学会 第38回大会 [2017年06月17日]

平成29年度における社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
1. 異文化間教育学会, 研究委員会 (2016年04月～2018年03月)
- 学外教育
1. [公開講座] 「多文化共生ワークショップ」, 茨城大学
 2. [公開講座] 「ちがいをたのしむー多文化共生へのはじめの一歩」, 平成29年度茨城大学公開講座(私立高校生徒向け)

平成29年度における科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費] 基盤研究(C)(分担)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」, (2017年04月01日～2021年03月31日)

平成29年度における国際交流活動

カナダ・サイモンフレーザー大学の日本語授業履修学生とのオンライン交流

平成29年度における大学運営・機構運営業務

- 委員会・入試などの業務(機構)
- 学術委員会
- 全学的委員会の業務
- ハラスメント委員会
- 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等
- 1. 日本語研修コースコーディネーター
2. 新入留学生個人面談
3. グローバル教育センター国際交流パーティー
4. 日本語研修コース学外研修

国際教育部門

氏名 瀬尾 匡輝

職名

講師

④ 教員の活動に関する主要データ

学位	学士（第二言語としての英語教授法）〔ハワイパシフィック大学〕 学士（宗教学）〔ハワイ大学マノア校〕 修士（第二言語研究）〔ハワイ大学マノア校〕 博士（言語学）〔上智大学〕
学歴	上智大学大学院 外国語学研究科 博士課程 言語学専攻 [2014年03月単位取得満期退学] ハワイ大学マノア校大学院 第二言語研究学科 修士課程（アメリカ合衆国） [2008年12月修了] ハワイ大学マノア校 人文学部 宗教学科（アメリカ合衆国） [2006年08月卒業] ハワイパシフィック大学 国際学部（アメリカ合衆国） [2005年05月卒業]
職歴	茨城大学 講師（2015年4月～） 香港理工大学 専任講師（2012年1月～2015年3月） 香港大学專業進修学院 専任講師（2009年9月～2011年12月） 香港大学專業進修学院 非常勤講師（2009年1月～2009年8月） ハワイパシフィック大学 非常勤講師（2008年1月～2009年1月） コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 教務主任（2007年～2008年） コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 夏季日本語教師（2005年～2006年）
専門分野	日本語教育 外国語教育 教育社会学
教育研究概要	言語教育（特に日本語教育）、教育社会学を専門としている。これまで海外を拠点に研究を行ってきたため、海外における日本語教育のあり方についての批判的な検討を学習者と教師の視点から試みてきた。 学習者の視点 学習者の動機や動機減退要因を調査していくなかで、余暇活動と消費としての日本語学習の存在を明らかにした。その上で、学習者の視点に立った実践研究を行っている。 教師の視点 海外で働く教師達にインタビューを行った結果から、教師達の対立や孤立感を浮き彫りにした。そして、海外で働く教師のためのオンラインコミュニティを立ち上げ、企画・運営した結果を実践研究という形で報告している。 （キーワード）外国語/第二言語としての日本語教育（JSL/JFL）、批判的応用言語学、グローバルイゼーションと言語教育、実践研究、質的研究、批判的教育
所属学会	大学日本語教員養成課程研究協議会 日本教師教育学会 日本教育工学会 国立大学留学生指導研究協議会 開発教育協会 国際理解教育学会 異文化間教育学会 日本質的心理学会 日本教育社会学会 言語文化教育研究会 日本語教育方法研究会 カナダ日本語教育振興会 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会 全国語学教育学会 香港日本語教育研究会 日本語教育学会
受賞歴	The Patricia A. Williams Prize in Education (2005)
担当科目	（日本語研修コース）日本語レベル4（総合） （阿見・日立日本語補習授業）日本語入門，初級日本語 I，初級日本語 II，日本語中級，アカデミック・ジャパニーズ，論文作成，日本語会話，非漢字圏の人のための漢字 （教養科目）表現・言語系科目（Studies in Contemporary Japan），表現・言語系科目（Japanese Pop Culture），多文化共生（短期海外研修 I & II（ブルネイ）），多文化共生（短期海外研修 I & II（マレーシア）） （専門科目）日本語教授法 I

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本（一般書）・編者] 瀬尾 匡輝「ブルネイに行ってきた！ーブルネイ・ダルサラーム大学短期英語研修体験談ー」，茨城大学グローバル教育センター（2018年01月09日）</p> <p>2. [研究論文（大学，研究機関紀要）・単著【査読あり】] 瀬尾匡輝「海外で働く日本語教師の実践の再構築ーグローバルナレッジとローカルナレッジに着目してー」，茨城大学全学教育機構論集グローバル教育</p>

研究, 1, 85-104 (2018年02月)

3. [研究論文(学術雑誌)・単著【査読あり】] 瀬尾匡輝「コミュニティと関わり、コミュニティに働きかけるプロジェクト活動—留学生と日本人学生がともに学ぶ授業実践から—」, イマ×ココ, 5, 36-41 (2017年12月27日)
4. [学位論文(博士)・単著【査読あり】] 瀬尾匡輝「言語教育実践のグローバル化—海外で働く日本語教師のケース・スタディ」, 上智大学大学院博士論文, (2017年09月20日)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「映像を用いた実践共有の可能性—日本語中級学習者を対象としたプロジェクト活動をもとに—」言語文化教育研究会第4回年次大会(立命館大学) [2018年03月11日]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「言語教育の商品化の議論へ向けた新たな視座—新自由主義に関する先行研究の文献レビューから—」言語文化教育研究会第4回年次大会(立命館大学) [2018年03月11日]
3. [その他・国内会議(共同)] 言語文化教育研究会研究集会実行委員会「2017年度言語文化教育研究会研究集会「クリティカルとは何か」【ビデオ上映会】」言語文化教育研究会第4回年次大会(立命館大学) [2018年03月11日]
4. [ポスター発表・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「グローバルな実践の再構築—海外で働く日本語教師のケース・スタディから—」協働実践研究会第13回研究会(早稲田大学) [2017年12月02日]
5. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「海外で働く日本語教師の実践の構築/再構築—言語教育実践のグローバル化の視点から—」上智大学英語教員研究会 第208回例会(上智大学) [2017年10月21日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「「文法を重視する」という教師の日本語教育の考え方はどのように作り出されているのか—言語教育のローカル化の視点から—」異文化間教育学会第38回大会(東北大学) [2017年06月17日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議] 瀬尾匡輝「英語によるコンテンツ授業で受講生達は何を学んだのか—留学生と日本人学生がともに学ぶ授業実践—」日本国際理解教育学会第27回研究大会(筑波大学) [2017年06月03日]

平成29年度における社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 香港大学専業進修学院・外部評価員(2017年02月～)
2. [非常勤講師] 常磐大学・非常勤講師, 6(時間/月)(2016年04月～2018年03月)

○ 学協会での役職

1. 日本語教育学会, 開会式典サポーター(2017年02月～2017年05月)
2. 言語文化教育研究会, 研究集会実行委員長(2016年～)
3. 言語文化教育研究会, 事務局長補佐(2015年～)
4. 言語文化教育研究会, 研究集会実行委員(2014年～)
5. 言語文化教育研究会, 理事(2014年～)

○ 学外教育

1. [公開講座] 「多文化共生ワークショップ」, 2時間, 3名出席,
2. [公開講座] 「ちがいをたのしむ—多文化共生へのはじめの一步—」, 3時間, 3名出席, 平成29年度茨城大学公開講座(私立高校生徒向け)
3. [その他] 「日本研究「日本のポップカルチャー」」, 23時間, 13名出席, 常磐大学
4. [出前授業] 「外国語として日本語を教えてみよう!」, 2時間, 35名出席, 茨城県立伊那高等学校「ブレカレッジ」

○ 地域協力活動

④ 教員の活動に関する主要データ

1. 香港大学専業進修学院 [学外審議会・委員会等] 「香港大学専業進修学院 外部評価員」 (2017年～)
2. [地域貢献事業] 「阿見町国際交流協会 ホームステイ委員会委員」 (2015年05月～)

平成29年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 平成29年度 若手研究(B) (代表) 「言語学習の「商品化」と「消費」の包括的な理解を目指した調査研究」, 403万円 (2017年04月01日～2020年03月31日)

平成29年度における国際交流活動

- 1) [教育交流] 「マレーシア短期英語語学研修」 (連携協定あり) ・マレーシア科学大学 (マレーシア)
2018年03月～2018年03月 相手方参加者数: 教員6名/学生15名 本学参加者数: 教員1名/学生5名
- 2) [教育交流] 「ウィスコンシン州立大学スペリオール校との授業交流」 (連携協定あり) ・ウィスコンシン州立大学スペリオール校 (アメリカ合衆国)
2017年12月～2017年12月 相手方参加者数: 教員1名/学生20名 本学参加者数: 教員1名/学生11名
- 3) [教育交流] 「ブルネイ・ダルサラーム大学の学生との授業交流」 (連携協定あり) ・ブルネイ・ダルサラーム大学 (ブルネイ・ダルサラーム国)
2017年10月～2017年10月 相手方参加者数: 教員1名/学生18名 本学参加者数: 教員1名/学生11名
- 4) [教育交流] 「ブルネイ短期英語語学研修」 (連携協定あり) ・ブルネイ・ダルサラーム大学 (ブルネイ・ダルサラーム国)
2017年08月～2017年09月 相手方参加者数: 教員3名/学生20名 本学参加者数: 教員1名/学生14名

平成29年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務 (機構)

→ 日本語教育プログラム部会, グローバル英語教育プログラム部会, 英語教育検討タスクフォース, 全学教育機構ウェブサイト開設タスクフォース

○ 機構教員としての全学的活動 (教学マネジメント) 等

→ 阿見・日立日本語補習授業 コーディネーター, 阿見キャンパス留学交流室チューターの支援, グローバル教育センターホームページ及びFacebook ページの管理, 留学生アンケートの実施, 阿見・水戸キャンパス留学交流室チューター交流会の実施, 学生交流促進のためのワークショップの実施, 工学部新2年留学生と日立キャンパス交流室チューターの交流会の実施, 留学生・日本人学生協働発表会の実施, 阿見キャンパスの留学生家族の生活支援

○ その他の校務

→ 茨朋会幹事

国際教育部門

氏名 塚田 純

職名	助教
学位	修士 (メディア・コミュニケーション) [Mittuniversitetet] 博士 (学術) [東北大学]
学歴	Mittuniversitetet 大学院 Department of Media and Communication Science 修士課程 Political Communication (スウェーデン) [(年不明) 修了]

	東北大学大学院 情報科学研究科 博士課程 人間社会情報科学専攻メディア情報学講座メディア文化論（日本）〔（年不明）修了〕
職歴	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード) Political Communication, Constructive Journalism, Solution Journalism, Mediated Citizenship, Journalism, Democratic Citizenship, Democracy, Democratizing Potential of the Internet, Media Literacy, Normative Theories of the Media
所属学会	
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) 人間とコミュニケーション, グローバルスタディーズ, メディア文化, グローバルスタディーズ, メディア文化, グローバルスタディーズ

平成 29 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. 〔研究論文(学術雑誌)・単著【査読あり】〕Jun Tsukada “Survivors of the Great Eastern Japan Earthquake and Their Detachment from the Media”, Japan Association of Comparative Culture, (2017年12月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. 〔・国際会議(単独)〕 “Mediated Citizenship: Examining the Tokyo Big Three Newspapers Depiction of Citizens During Japan’s Postwar Independence and Commencement as a Democracy” The Asian Conference on Social Sciences [2017年06月]</p>

平成 29 年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 全学的委員会の業務</p> <p>「AIMS 部会」(年度不詳)</p> <p>「グローバル イングリッシュ プログラム (GEP) 部会」(年度不詳)</p> <p>○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等</p> <p>1. 〔AIMS Program 部会員〕(年度不詳)</p> <p>2. 〔Global English Program (GEP) 部会員〕(年度不詳)</p>
